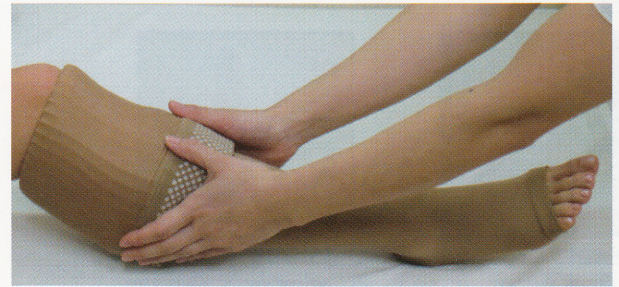


ストッキングエイド

ドフ&ドナー

ドフ&ドナーは弾力ストッキングを着脱するための介助用品です。



特 長

- すべてのタイプ・サイズの弾力ストッキングの着脱を簡単に行えます。
- 包帯や絆創膏の上からでも弾力ストッキングの着脱が出来ます。
- 無理にストッキングを伸ばしませんのでストッキングを傷つけません。
- アルコールによる消毒が可能です。
- 着・脱の両方に使えます。
- そのままの状態ですべてに使用することが出来ます。



米国製

有限会社ヘルステック

〒249-0007

神奈川県逗子市新宿

3-2-31

TEL: 046-871-9707

FAX: 046-871-9708

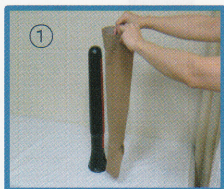
E-mail: matsuihiro@krb.biglobe.ne.jp



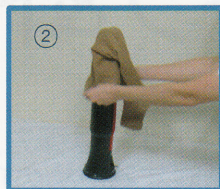
A. ドナーロールの作り方

(フルロール)

パンティストッキング以外、すべてのストッキングに対応できるロール方法です。



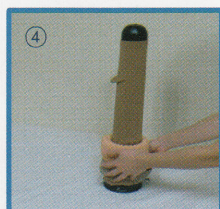
① ドナーコーンまたはドナポールを床に固定します。



② その上からストッキングを被せます。



③ さらにドフ&ドナーを通します。



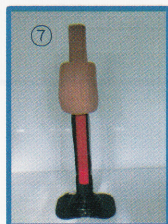
④ ストッキングの下端をつまみ ゆっくりとドフ&ドナーに被せるように持ち上げます。



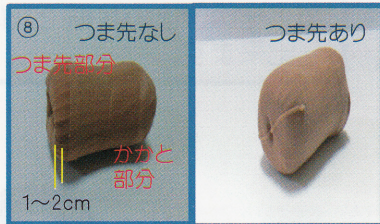
⑤ ストッキングを持ち上げしわや重なりが無いようにします。



⑥ 一度、上の手を離し、両掌を使って上の方へ巻き上げます。



⑦ そのまま滑り止めベルトも巻き込んでドナーロールの完成です。



⑧ つま先なしの場合、エッジが1~2cm出るように、つま先がある場合には先端が平らになるように巻き込みます。

B. ドナーロールの作り方

(ハーフロール)

パンティストッキングやベルトが邪魔ですべてを巻き込むことが出来ないときにつかいます。

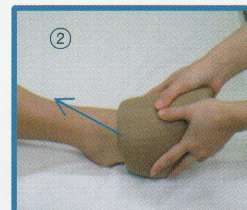


① パンティ部分や滑り止め部分を巻き込まない作り方です。
② 右の⑥の段階で ドフ&ドナーをかかと部分まで持ち上げ、ここから ストッキングを巻き込みます。
③ その時、上の部分は上に引っ張り、巻き込まないようにします。

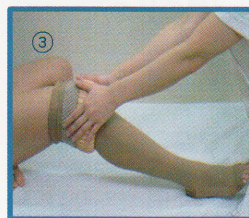
ドフ&ドナーを使った履かせ方



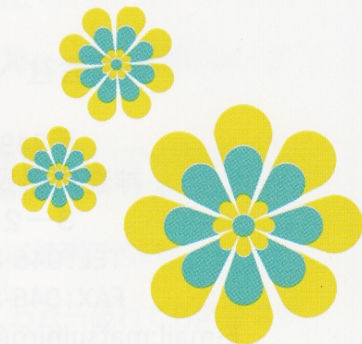
① かかとの位置を下になるように確認して、反対側のつま先の方から押し込みます。



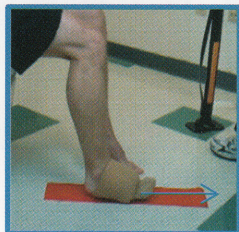
② ロールを両手で包み込むように上側に滑らせます。指先でなく手のひらで押すようにします。



③ そのまま、上まで滑り上げます。その後しわを伸ばして完了します。

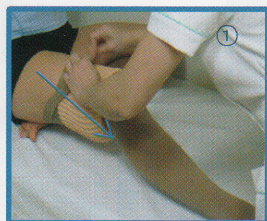


一人でも履くことができます。



絨毯などの滑りにくい所では簡単に履くことができます。
ロールに足先を差し込み軽く踏みこむようにして足を滑らすと、簡単にストッキングを履くことができます。

ストッキングの脱がし方



①

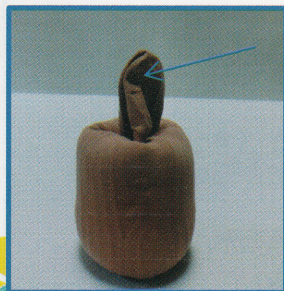
ストッキングの上までドフ&ドナーを押し上げます。
ストッキングの縁を持ちドナーの上にかぶさるように引き下げます。



②

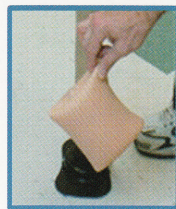
そのまままで巻き取りながら両手で転がしていきます。
巻き取ったロールはそのままにしておけば再度着用時に使えます。

ストッキングとロールの外し方



必ずつま先を写真のように先端から出るようにして、ここをつまみ転がすと簡単に外れます。

ドフ&ドナーで使用されるもの



ドフ&ドナー
ストッキングを
巻き込む用具で
す。

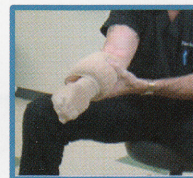


ドナーコーン
ドナロールを
作るための支
柱です。



ドナーポール
ドナロールを
作るための支
柱です。

腕を支柱にドナロールを
作ることもできます。



完成したドナロール



フルロール
ストッキングのすべてを
巻き込みます。



ハーフロール
ストッキングの上の部分は
巻き込みません。

ドフ&ドナー取り扱い上の注意

- ストープなどの熱い物の近くに置かないでください。破損の原因になります。
- ピン、ハサミなど鋭利な物と一緒に保管しないでください。破損の原因になります。
- 日光のあたる場所には保管しないでください。
- 長期間使用しない場合にはビニール袋に入れて保管してください。
- 汚れた場合には、水または洗剤で洗い、水をふき取ってください。
- 中の液体は石鹼水です、万が一破れても無害です、シミにもなりません。
- 消毒はアルコールで行えます。